

FM網点とAM網点の利点を兼ね備えた網点「FAIRDOT」を販売開始  
～300lpi以上の高精細印刷に匹敵する品質が、  
175lpi同等の印刷環境で得られる

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区/社長：石田明)は、モアレを解消し、300lpi以上の高精細印刷に匹敵する品質が175lpi同等の印刷環境で得られる網点「FAIRDOT(フェアドット)」を9月1日から販売します。なお、8月31日から東京ビッグサイトで開催される印刷技術展「PRINTEK2000 TOKYO」に出展し、「FAIRDOT」を用いた印刷サンプルを配布します。

「FAIRDOT」は、当社が長年培ってきた網点化技術を駆使して開発してきたもので、FM(Frequency Modulation)網点の特徴であるランダム配置ができ、かつ、AM(Amplitude Modulation)網点のラウンドふうの形状をした世界初のAMとFMのハイブリッドコンセプトの網点です。これにより、デジタル画像処理でも除去が困難であったロゼッタモアレ、干渉モアレのパターンを解消するとともに、地図などの細線の再現、CRT画面の再現、ステレオのスピーカーのメッシュや木目、ファッション生地細かい柄の再現性を向上させます。

また、「FAIRDOT」は、シャープな網点と高い見当精度が得られるCTP(Computer To Plate)との組み合わせにより、2400dpiという一般的な出力解像度で生産性を落とすことなく高精細な画像が出力できます。さらに、高度な印刷管理システムの中で行われている300lpi以上の高精細印刷に匹敵する品質が、従来の印刷管理設備(=175lpi同等の印刷環境)を変えずに得られ、通常網点とFM網点の良さを持つすぐれた品質の画期的な網点です。

このたびリリースされる「FAIRDOT」は、サーマルCTP「プレートライト8000」と「プレートライト4000」のポジ版出力用の網点で、搭載可能な当社システムは統合システム「レナトス」とインテリジェントRIP「Trueflow」です。

【販売予定価格・消費税別】

120万円

【発売日】

2000年9月1日

【対応機種】

・「プレートライト8000」および「プレートライト4000」のポジ版出力用

【搭載可能システム】

・統合システム「レナトス」  
・インテリジェントRIP「Trueflow」

「FAIRDOT」の網点形状(拡大図)

